

Block 1-4 期

Tutorial 課題 No. 13

「どの経路がいいかしら？」

(薬物の体内動態と作用機序 [解熱鎮痛薬])

2002

薬理学教室



無断で複写・複製・転載すると著作権侵害となる場合がありますのでご注意ください。

シート1

恵子さんと路子さん姉妹は、今年の夏休みの北海道旅行の計画をしています。

恵子「北海道旅行は、行きは飛行機で、帰りはフェリーにしない」

路子「うん・・・」

恵子「路子、ちょっと顔色が悪いんじゃない。熱は無いの」

路子「うん、少し寒気がするんだけど」

路子さんは体温を計ってみると、38°Cの熱がありました。

そこでバファリン®を飲むことにしました。

路子「ええっと、大人一回2錠を飲めばいいのね。この薬は、胃にやさしくて早く効くって書いてあるけど、本当に直ぐに効くのかしら」

【抽出を期待する事項】

解熱鎮痛薬の作用、作用機序

バファリンと通常のアスピリンの相違

[薬物の体内動態(吸収、分布、代謝、排泄)]

(発熱の機序)

シート 2

次の日の朝、路子さんの熱は再び上がってきてしまいました。
路子「また熱が上がってきてしまったわ。一度飲んだらずーと効いている薬ってないのかしら」
恵子「でもあまり効き過ぎても良くないんじゃないの」
路子「小学生の頃、坐薬を使って、私はわりと良く効いた覚えはあるけど・・・」
恵子「でも人によっても違うんじゃない」
路子さんは、今度は、坐薬を試してみることにしました。
3日後、すっかり良くなった路子さんは、また北海道旅行の話をして
います。
路子「やっぱり北海道旅行の帰りは、北斗星にしない？」
恵子「そうねえ、どの経路がいいかしら」

- 【抽出を期待する事項】
薬物の投与経路と剤形による薬効の差異
薬物の体内動態（吸収、分布、代謝、排泄）
（薬の用量と反応の関係）
（薬物感受性の個人差）